

第6回 校舎第1回増築（1974年6月～1975年1月）



第1回目の校舎増築で出来た、写真左上の二階部。

（「海外子女教育」1978年踏青号より）

1973年3月に現在の旧校舎と呼ばれる場所に330名収容の新校舎が落成し、ドン・ボスコシュレ（小1～小4）とカネージュスハウス（小5～中3）とブレンダムーア通り（職員室兼事務室）の3箇所（何れもオーバーカッセル区）から漸く1箇所には纏まることができて、2か年の借り校舎時代の不便さや肩身の狭い思いから開放された。ところが落成1年後の1974年5月には生徒数ははや334名に達し収容能力の点で一刻の猶予も出来ない状態になった。

そこで1974年6月末日、校舎の2階左側部に6教室の増築を開始（現在小2などが入っている4教室と地上階2室）、翌1975年1月に完成、総費用は当時およそ1億円。これで普通教室は16室となり500名収容可能となった。しかし生徒数はこの後も激しい右肩上昇を続けて行き、早や3年後の1978年には写真の左に見える駐車場の地に中学生用の5教室が増築されることになる。（Nr.8:第2回増築を参照）。

尚学校菜園には懐かしい、気象観測用の白いペンキ塗りの百葉箱が見える。



工事現場を視察する福田孝三郎総領事（右）と宮崎恒信第2代校長。
(以上写真2点 本校創立十周年記念誌「輝く十年みんなでジャンプー、二、三」より)